



「そうじゃ」地・食べ」委員会は、学校給食に市内産の野菜の納入を進め、重量ベースでの年間使用割合を、前年の17%から35%にしようとする生産体制の強化を図っています。

今年度の野菜の年間使用見込み14.6トンを対し10月末で、市内産の野菜の使用割合は10.98%。前年の同時期には、年間の使用量の約14.4トンに対し約6.33%。前年より4.65ポイント高く、重量で約7000kg多い状況です。

市内産の野菜は、農協経由か、「地・食べ」委員会生産者部会と契約した生産者グループのいずれかから納入されます。1日約6400食(市内

全小・中学校分)を調理する学校給食に、左の表のとおり、キュウリやニンジンなど15種類約1.6トンを10月末までに納入しました。

現在、奥坂や横谷、美袋などの9つの生産者グループが、キャベツや白菜など11種の野菜を栽培中。11月にはキャベツや白菜の出荷も始まりました。市内産の野菜の使用割合は、市ホームページで随時お知らせします。

問い合わせ 農林課農林係 (0827)8271

| 学校給食での市内産の野菜の使用状況 | | |
|-------------------|--------|---------------------------------------|
| 月 | 使用量 | 使用した主な野菜 |
| 4月 | 14 | ショウガ、アスパラ |
| 5月 | 2,549 | タマネギ、ニンジン、ショウガ、アスパラ |
| 6月 | 7,981 | タマネギ、ニンジン、小松菜、ジャガイモ、ナス、キュウリ、アスパラ、ショウガ |
| 7月 | 2,439 | タマネギ、ジャガイモ、キュウリ |
| 8月 | | <夏休みで使用なし> |
| 9月 | 2,269 | ミニトマト、タマネギ、ジャガイモ、ゴーヤ、ナス、キュウリ |
| 10月 | 786 | ジャガイモ、キュウリ、葉ネギ、サツマイモ、きびみどり |
| 合計 | 16,038 | |

(注) 使用量の単位はkg



上横谷地区生産者グループのキャベツの収穫。約10%で栽培し、12月中旬までに約2780kgを出荷予定。左の学校給食では、このキャベツが、ハンバーガーの具として使われた



学校給食で使用した市内産の野菜の使用割合 (重量ベースで、今年4月～10月)

10.98%

今年4月から10月末まで、学校給食で使用した市内産の野菜の種類やその使用量をまとめた表。7月は下旬が夏休みのため少ない。9月、10月は、農協経由の納入が減り、活動を始めた生産者グループからの野菜が中心となった



11月9日、市役所玄関のそばに農業公社が直売所を開店した。毎週水曜日の午前10時から午後1時まで、同公社が買い付けた市内の新鮮な野菜を販売する



農業公社きびの里から野菜栽培の委託を受けた就労移行支援事業所「わくわくハンド・ベル」の利用者がキュウリを収穫。「地・食べ」と障がい者千人雇用の両方の側面をもつ取り組み。8月に苗を植えたキュウリは、10月上旬から収穫が可能に。収穫したキュウリは、学校給食や直売所へと出荷された

「地・食べ」とは、地元の産品を作りみんなで食べようの意味を含めた、総社の地産地消の取り組みの愛称。そうじゃ「地・食べ」委員会は、その推進方針を決める会議のこと。